必ず令和3年10月現在の状況を記入すること

記 入 例

申請区分	後期分

※ 印の箇所は該当のものを〇で囲むこと。該当箇所はすべて正確に記入すること。記入内容が虚偽であったり，該当箇所の記入漏れ等が大量にある場合は授業料免除申請を受け付けれない場合があります。また，内容について大学より問い合わせを行う場合があります。

（様式２）
令和３年度後期分

家 庭 状 況 調 書

①学籍番号・学年	19××××	３回生	②所属 ※（柏原）・天王寺

フリガナ	キョウ イク ジ ロウ	
③氏名	教 育 二 郎	
⑤休学期間	自 年 月	
	至 年 月	
【休学理由】		

休学をした場合は必ず記入

④ 専攻等
※□は✔を，該当するものには〇をつけ，専攻・ｺｰｽは記入してください。

- □初等教育（ 幼児・小学校 ）専攻【 昼間・夜間５年・３年次編入 】ｺｰｽ
- □第二部（ １年次 ・ ３年次編入 【 Ｂ組 ・ Ｃ組 】）
- □学校教育教員養成課程（ ）専攻【 】ｺｰｽ
- □教育協働学科 ・ 教養学科（ ）専攻【 】ｺｰｽ
- □大学院 教育学研究科【 】専攻
- □養護教諭教員養成課程
- □特別支援教育教員養成課程
- □特別支援教育特別専攻科
- □大学院 連合教職実践研究科

⑥本人現住所：〒582－0026 柏原市旭ヶ丘×-×-×
※（自宅）・学寮・下宿・その他 TEL 072（978）××××

⑦家族住所：〒 同 上
TEL

⑧家族状況（生計を共に員記入してください。）主たる家計支持者に◎印，従たる家計支持者に〇印，別居者に×印
※家計支持者で父母又は父母の代わりに家計を支える者」とし，収入の多い方を「主」，収入の少ない方を「従」とする。
（#1）給与所得等（給与・報酬・専従者給与・パート収入・年金・恩給・児童扶養手当・生活扶助・傷病手当金
（#2）給与所得以外（員・親戚等の援助・内職・不動産・配当・工農林水産・その他の所得）をいう。

主たる家計支持者に「◎」，従たる家計支持者に「〇」，別居している者に「×」を付ける

給与所得の場合：「源泉徴収票」・「年収入（見込）証明書」の金額を記入

給与以外の所得の場合：「確定申告書」の金額を記入

就学者を除く家族									⑨ 収入状況（年収）						
									（#1）給与所得等（千円）			（#2）給与所得以外（千円）			
続柄		氏名	年令	現在の職業	在職期間	勤務先名	住民税		所得の種類	収入金額	所得金額	所得の種類	収入金額	必要経費	所得金額
◎	父	教 育 太 郎	57	会社員	30年 か月	（株）大阪商店	課税 非課税		給料	5870					
		※死亡・生別・退職等の場合（ 年 月 死亡・生別・退職 ）							児童手当	120					
〇	母	教 育 花 子	54	自営業	20年 か月	教育商店（菓子店）経営	課税 非課税					営業	3980	3835	145
		※死亡・生別・退職等の場合（ 年 月 死亡・生別・退職 ）										不動産	1203	825	378
×	祖母	教 育 キ ヨ	78	無 職			課税 非課税		遺族年金	964					
	姉	教 育 友 子	25	会社員	10か月	（株）〇〇〇〇	課税 非課税		給料	2660					
	兄	教 育 一 郎	22	アルバイト	2年3か月	〇〇〇〇	課税 非課税		給料	600					
	本人	教 育 二 郎	20	アルバイト	5か月	家庭教師	課税 非課税		給料	360					
						所得金額合計									523

年金等：最新の「年金（恩給）額改定通知書」・「年金振込通知書」等の金額を記入

生活保護受給世帯：「保護決定通知書」
児童扶養手当：「児童扶養手当証書」等
児童手当：「児童手当支払通知書」等
失業者：「雇用保険受給資格者証」
の金額を記入

就学者の兄弟姉妹に収入がある場合は必ず記入

昨年途中又は今年新たに就職・転職した場合は「年収入（見込）証明書」を提出

家族数を記入

一時所得について（申請時までの６か月間の臨時的な所得について記
1，退職金 令和 年 月（総額）（ ）円
2，その他 令和 年 月（内容； ）（総額）（ ）円

退職金：退職金支払額証明書等
保険金：保険金支払（予定）額証明書等
資産の譲渡による所得：確定申告書の控等の金額を記入

家族構成
家族総数（ 7 ）人

就学者	続柄	氏名	年令	在学学校名	※設置者		学年	※通学別	※前年度授業料免除状況	控除金額 千円
	本人	教 育 二 郎	20	大阪教育大学	（国）・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）（・大学）	2	（自宅）・自宅外	前期（全免・（半免）・不許可・申請なし） 後期（（全免）・半免・不許可・申請なし）	
	兄	教 育 一 郎	22	××大学	（国）・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）（・大学）	4	自宅・（自宅外）	前期（全免・（半免）・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・（不許可）・申請なし）	
	妹	教 育 あゆみ	15	〇〇中学校	国・（公）・私	小・（中）・高・高専・専修（高等・専門）・大学	3	（自宅）・自宅外	前期（全免・半免・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・不許可・申請なし）	
					国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	前期（全免・半免・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・不許可・申請なし）	
					国・公・私	小・中		自宅・自宅外	前期（全免・半免・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・不許可・申請なし）	

本人以外が国立学校に在学している場合は「授業料免除実施状況証明書」を提出

専修・専門学校に在籍する場合は「在学証明書」を提出

控除金額欄は記入しないでください

⑩本人の状況
前年度（令和２年４月～令和３年３月）及び今年度（令和３年４月～令和４年３月）受給の給付型奨学金について

今年度受給予定と前年度受給していた給付型奨学金について記入（高等学校在学時に受給していた奨学金は記入不要）

給付型奨学金					
今年度	名称：〇〇奨学会	月額 30,000 円	年額（ 4月 ～ 3月 まで） 360千円	合計	
	名称：	月額 円	年額（ 月 ～ 月 まで） 千円		
	名称：		千円	360 千円	
前年度	名称：		千円	合計	
	名称：		千円	千円	

該当する場合は□に

※家計支持者である「父母又は父母の代わりに家計を支える者」の，収入の多い方を「主」，収入の少ない方を「従」たる家計支持者とする。
父母のいずれも，無職無収入で，祖父母などのほかの家計支持者もいない場合は，「主」を父，「従」を母として記入。
例）父の収入＞母の収入であれば，主（父）／従（母）

世帯の事情等
- □ 生活保護受給世帯の子
- ☑ 家計支持者（父母又は父母の代わりに家計を支える者）が全員，住民税（所得割）非課税 【家計支持者 【主（ ）／従（ ）】）
  ※家計支持者は「父母又は父母の代わりに家計を支える者」とし，収入の多い方を「主」，収入の少ない方を「従」たる家計支持者とする。
- □ 児童養護施設を退所した（もしくは現在，入所中の）者又は里親委託等にあって大学に入学した者

⑪特別控除（下記の事項の家庭状況に該当する者は，※該当欄に〇印又は記入すること。）

※ 有・（無）	母子・父子世帯（子女が１８歳未満及び６０歳以上で経済力のない祖父母の世帯等	【※ 母 子 ・ 父 子 】	千円
※（有）・無	障害のある人がいる世帯	【続柄； 祖母 ， 1 人 】	
※ 有・（無）	長期に療養を要する人（6か月以上療養中の人，療養を必要とする人）のいる世帯	【※入院・通院・自宅療養】【続柄； 】 【必要経費療養費；１か月平均約 円】	
※ 有・（無）	主に家計を支えている者が別居している世帯（別居による住居・光熱水費）	【続柄； 】	千円
※ 有・（無）	火災・風水害又は盗難などの被害を受けた世	【※火災・風水害・盗難】【災害年月日；	千円
※（有）・無	父母以外の者で所得を得ている者のいる世帯	【続柄； 姉 兄 祖母	千円

障害のある人がいる世帯：障害者手帳の写を提出

長期療養を要する人がいる場合：診断書・申立書・領収書(6カ月分）を提出

災害等の被害を受けた世帯；り災証明書・被害額を証明する書類等を提出

家計支持者が別居している場合：申立書・領収書(3カ月分）を提出

特別選考の申請	有 ・ 無	1（里親委託等）【 】・2（障害者あり）【 】・3（長期療養者あり）【 】【入院中・通院中・自宅療養】 4（自己破産）【 】【平成 年 月】・5（生活保護）【平成 年 月から】・6（その他）【 】									
学力・単位数	・	所 得		控 除		総所得		家計評価額		適格 ・ 不適格	全免・半免・不許可

太枠内は大学記入欄